

ピンガで読む

# 横浜市の 財政

Yokohamashi  
no  
Zaisei



萌ちゃんの  
クラスの担任  
何でも知ってる  
ナンシー先生

萌ちゃんに  
想いをよせる  
同じクラスの  
ヨセル君

横浜市内の  
高校に通う  
元気な女の子  
萌ちゃん

ある日の放課後…



教室戻らないと…



しまった…  
課題のプリント忘れた  
カバンに入れたと思った  
んだけど…

この声はナンシー先生と  
萌ちゃん…  
なんだろう…?



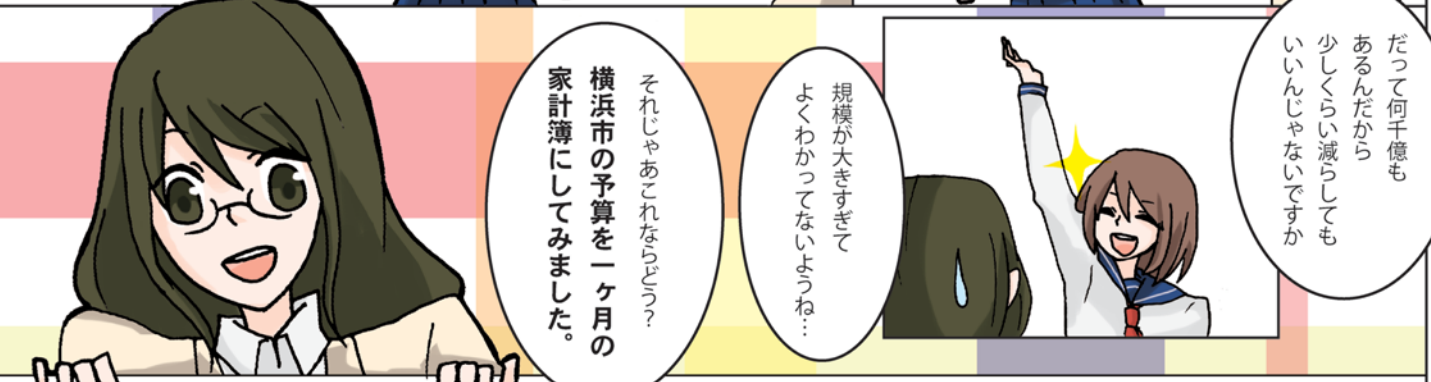
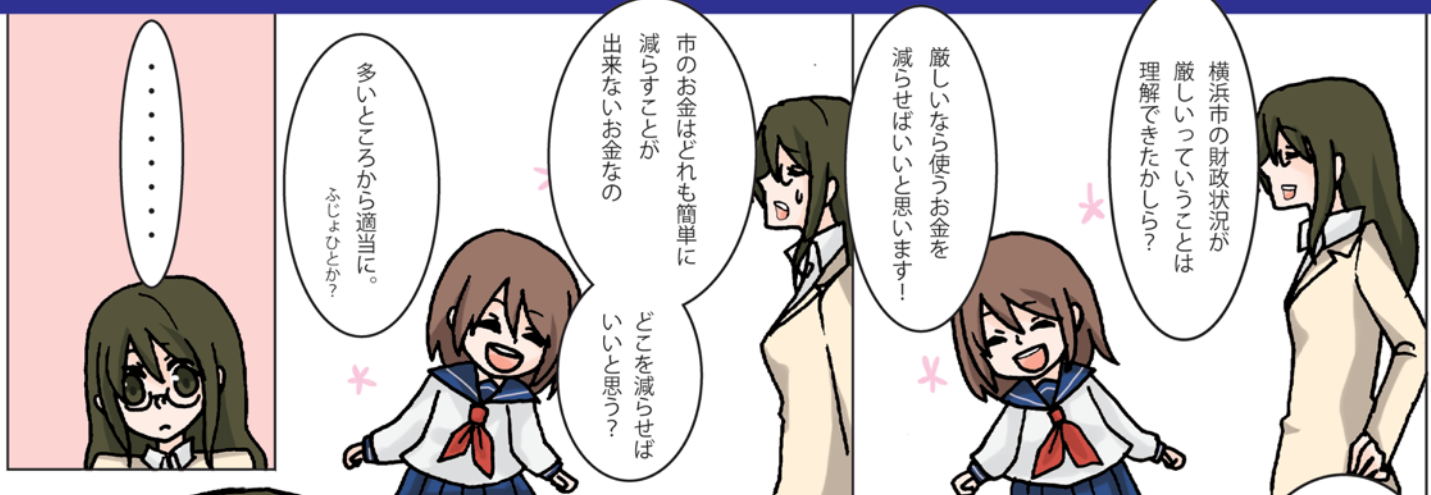
お仕置きね…

わからないよ先生!

ん?  
まだ誰かいるのかな?



# ★ 横浜市の予算を家計簿にしてみると…

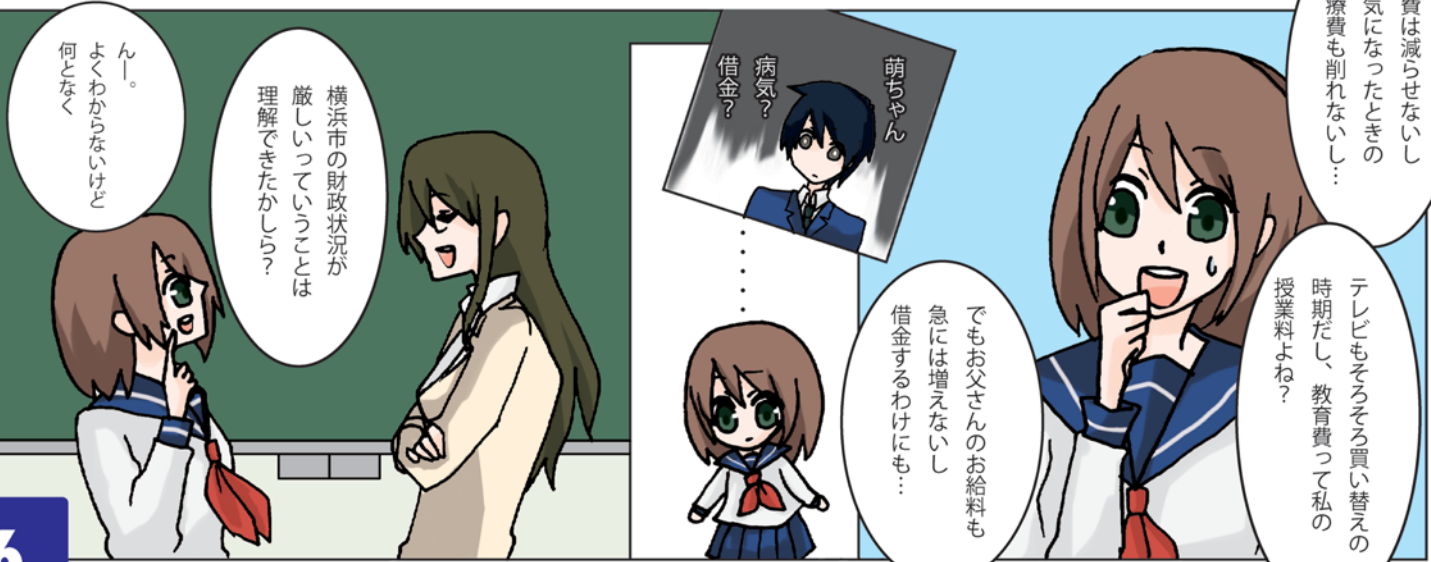


(単位：円)

収入	23年度①	22年度②	増減①-②	支出	23年度①	22年度②	増減①-②
給与	321,059	309,059	12,000	食費(人件費)	59,765	59,647	118
基本給(市税)	204,941	202,059	2,882	医療費・保育料など(扶助費)	116,059	102,235	13,824
諸手当(地方譲与税、県税交付金、地方交付税、国・県支出金など)	116,118	107,000	9,118	ローン返済(公債費)	54,647	55,059	▲412
パート収入・貯金の取崩など(使用料・手数料、諸収入、繰入金など)	50,118	53,588	▲3,471	光熱水費・日用品費・家賃・教育費など(行政運営費)	74,765	80,059	▲5,294
銀行からの借入(市債)	37,471	37,471	0	車の購入・家具や電化製品の買い替えなど(施設等設備費)	49,059	49,118	▲59
合計	408,824	400,118	8,706	子どもへの仕送り(繰出金)	54,471	54,000	471
				合計	408,824	400,118	8,706

■ 収入は…基本給(市税)や諸手当(地方譲与税、県税交付金、地方交付税、国・県支出金等)が少しだけ上がりましたが、パート収入など(使用料・手数料等)が減りました。今の生活を最低限維持するために必要な日用品や家賃など(行政運営費)を確保するため、銀行からの借入れ金(市債)は去年と同じにしました。

■ 支出は…医療費など(扶助費)が大幅に増えました。その分、光熱水費や日用品(行政運営費)を節約しました。



# ★ ★ 横浜市のバランスシートは……

萌ちゃんは  
バランスシートって言葉  
聞いたことある？

バランスボール？

バランスシート！

資産と負債のすべてが  
明らかになるもので  
健康診断みたいなものね

企業では法律で  
義務付けられているけど

国や自治体も  
公表することが  
求められてきたの

じゃあ横浜市にも  
あるんですね？

これが横浜市の  
バランスシートです

資産の部	金額	負債の部	金額
<b>1 公共資産</b>		<b>1 固定負債</b>	
①有形固定資産	90,156	①地方債	22,162
②売却可能資産	489	②退職手当引当金	1,705
<b>2 投資等</b>		③その他	3,108
①投資及び出資金	5,186	<b>2 流動負債</b>	
②貸付金	1,503	①翌年度償還予定地方債	2,144
③基金等	1,243	②その他	516
④その他	87		
<b>3 流動資産</b>		<b>負債合計</b>	<b>29,635</b>
①現金預金	746	<b>純資産の部</b>	<b>金額</b>
②未収金	95	<b>純資産合計</b>	<b>69,870</b>
<b>資産合計</b>	<b>99,505</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>99,505</b>

(単位：億円)

たとえば  
「公共資産」を見て！

横浜市は多額の  
資産を持っていることが  
わかります。

でも有効活用されていない  
資産もあるの。

健康診断みたいなものって  
言ったけど

どっという風に  
見ればいいんですか？

そこで、例えば、廃校を改装して  
福祉施設にしたり  
使わない土地を民間に売ったり、

計画的に活用する  
取組を進めているのよ。

読まなくなった  
マンガも

古本屋に売れば  
読んでもらえるし  
おつかけいにも  
なりますもんね！

レベルは違うけど…  
まあそっね

すげー！

エッ？  
廃校？売る？

# ★ 保育所の運営にたくさんのお金がかかるって本当？



- そのほかの身近な施設を見てみると…
- ◆ **地区センター** 【運営費▶29億2,800万円】(地区センター数:80か所)  
1施設あたり約3,700万円 市民1人あたりの負担797円
  - ◆ **スポーツセンター** 【運営費▶8億2,900万円】(スポーツセンター数:18か所)  
1施設あたり約4,600万円 市民1人あたりの負担226円





横浜市が22年度に策定した「横浜市中期4か年計画」ってなんですか？

25年度までに市が行う政策やその工程よ

「安心と活力があふれるまち・横浜」の実現に向けて政策を實行していくの

…なんだかむずかしそう

簡単に言うと  
目標達成のための計画ね

23年度は計画を本格的にスタートさせる政策実行の年なのよ

23年度のポイントは  
はこの2つ！

## 23年度予算のポイント

**緊急的な課題への取組**  
～安心を実感していただくために～

**将来に向けたプロジェクト**  
～横浜を一層元気にするために～

ずいぶんざっくりですけど…  
具体的に教えてください

**緊急的な課題への取組**  
～安心を実感していただくために～

### ◆ 保育所待機児童の解消

保育所整備だけでなく、あらゆる手法を用いた総合的な対策に取り組んでいきます。

主な事業

【保育所等定員の拡大】(37億1200万円)

保育所の新設などにより定員枠を拡大します。

【保育コンシェルジュの配置】(4900万円)

保育に関する相談を専門とした保育コンシェルジュを各区に1人ずつ配置し、子育ての相談を受けるとともに、多様なサービスの情報を提供します。

### ◆ 児童虐待対策の充実

区役所や児童相談所、学校、地域の関係機関の連携により、児童虐待の予防、早期発見、早期対応、再発防止に向けた取組をより一層すすめます。

主な事業

【スクールソーシャルワーカーの配置】(3800万円)

児童生徒に係る問題行動に学校が迅速かつ適切に対応できるよう支援するため、各方面の学校教育事務所に2人ずつスクールソーシャルワーカーを配置します。

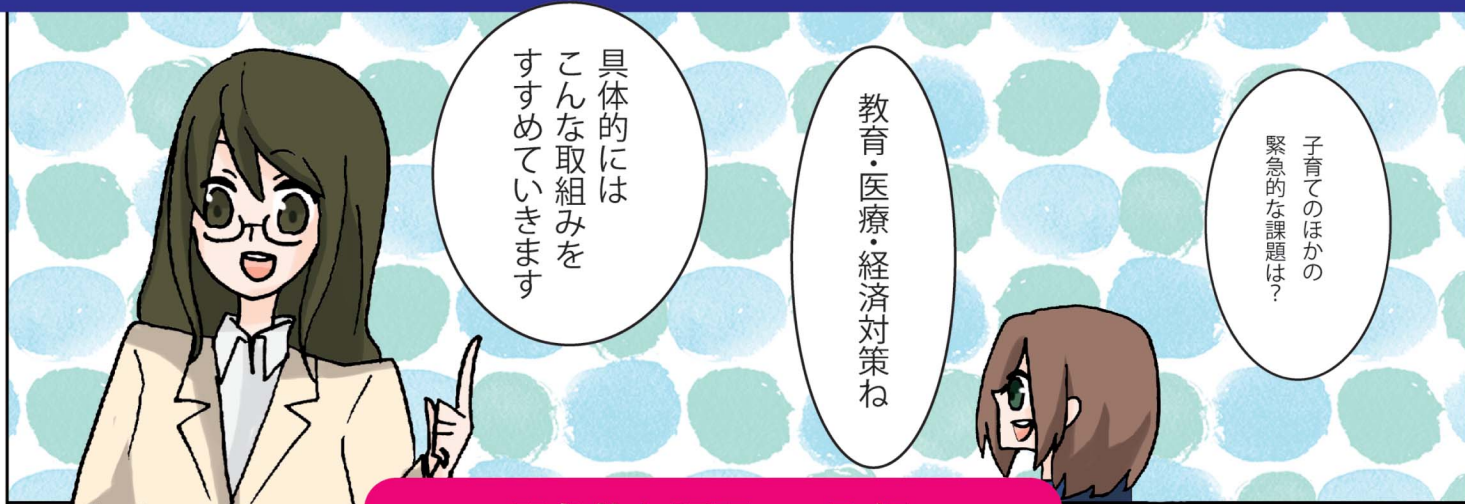
【北部児童相談所一時保護所の整備】(4700万円)

保護が必要な児童への支援強化のため、一時保護所を整備します。

他にもあります  
それは次のページでね！

まずは1つめのポイント！

子育て関係がたくさん！！



具体的には  
こんな取組みを  
すすめていきます

教育・医療・経済対策ね

子育てのほかの  
緊急的な課題は？

## 緊急的な課題への取組 ～安心を実感していただくために～

### ◆ きめ細かな教育の推進と市立学校への空調設備の設置

子どもたち一人ひとりの能力を伸ばすとともに、いじめ、不登校、発達障害や日本語指導を必要とする子どもへの対応など子どもを取り巻く諸課題の解消を目指します。

主な事業

#### 【児童支援専任教諭の配置】(2億3500万円)

子どもを取り巻く諸課題に対応する校内の中心的役割と、地域連携をすすめる対外的な窓口を担う「児童支援専任教諭」を26年度までに全小学校に配置します。

#### 【市立学校への空調設備の設置】(4億6300万円)

市立小中学校等の普通教室への空調設備について、25年度までの設置を目指し、24年度に実施する工事の設計と手法検討を行います。(※23年度は58校に設置)

### ◆ 産科・小児医療等、救急医療体制の充実

医療を取り巻く環境の課題を解消し、安心して子どもを産み育てることができる環境や必要な時に適切な救急医療を受けることができる体制を目指します。

主な事業

#### 【産科拠点病院の整備に向けた検討】(100万円)

安定した出産機会の提供や、周産期救急患者の受入体制の充実に向けて、複数の産婦人科医師が常駐する「産科拠点病院」の整備に向けた調整・調査等を実施します。

#### 【救急医療情報・相談センターの整備】(4200万円)

医療機関の案内や小児救急電話相談等のサービスを1つの電話番号で提供することで、わかりやすい相談体制とします。

### ◆ 緊急経済対策の実施

市内中小企業への融資や雇用の創造など、市民生活と市内経済を支援します。

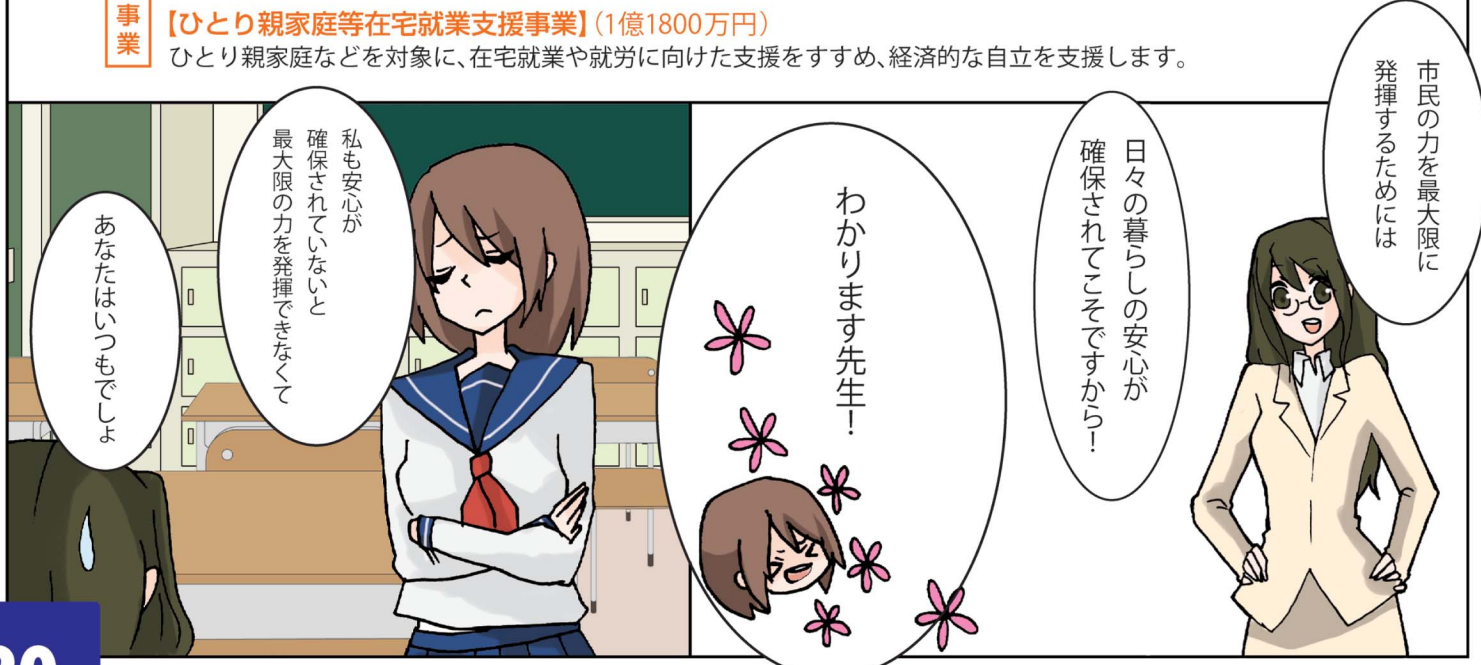
主な事業

#### 【中小企業制度融資事業】(668億6800万円)

融資枠1800億円を確保し、「緊急借換支援資金」の継続実施のほか、低利な「緊急支援特別資金」を新たに創設します。

#### 【ひとり親家庭等在宅就業支援事業】(1億1800万円)

ひとり親家庭などを対象に、在宅就業や就労に向けた支援をすすめ、経済的な自立を支援します。



あなたはいつもでしょ

私も安心が  
確保されていないと  
最大限の力を発揮できなくて

わかります先生！

日々の暮らしの安心が  
確保されてこそですから！

市民の力を最大限に  
発揮するためには



## 将来に向けたプロジェクト ～横浜を一層元気にするために～

### ◆ 地球温暖化対策の推進

低炭素都市づくりに向け、必要となる仕組みの構築などに取り組みます。

- 主な事業**
- 【横浜スマートシティプロジェクト】(2億5300万円)  
地域でエネルギーを有効活用する仕組みの構築や、次世代型住宅等を普及させていきます。
  - 【電気自動車等の普及によるCO<sub>2</sub>削減】(1億200万円)  
電気自動車の普及拡大と利用しやすい都市づくりに向け、電気自動車の導入や充電設備の整備に対する補助制度を充実します。

### ◆ 国際コンテナ戦略港湾の推進

国の「国際コンテナ戦略港湾」の指定を受け、先進的な港湾施設の整備や、横浜港への貨物集荷策など競争力強化施策を展開し、横浜港のハブポート化を推進します。

- 主な事業**
- 【先進的な港湾施設の整備】(78億3000万円)  
南本牧ふ頭高規格コンテナターミナルの整備や、本牧ふ頭の再整備をします。
  - 【集荷策等競争力強化施策の展開】(4億3700万円)  
コンテナ貨物集荷促進(京浜三港広域連携事業など)、横浜港埠頭公社民営化を推進します。

### ◆ 中小企業の競争力強化による成長支援

市内中小企業の競争力強化のための技術・経営革新を促進するほか、持続的発展に向けた基礎的支援を行います。

- 主な事業**
- 【中小企業研究開発の促進】(2億7900万円)  
新技術・新製品開発に取り組む中小企業に対して、研究開発段階から販路開拓まで一貫して支援します。
  - 【中小製造業経営革新(設備投資)の促進】(1億1100万円)  
中小製造業が技術・製品の高度化、CO<sub>2</sub>の削減など経営革新のために行う、工場等の新增設や設備投資を支援します。

